

クリニックレター 2020年3月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

緊急のお知らせ

保険診療においては、「対面診療」、つまり医師と患者様が直接向き合って診察をおこない必要な検査や処方決定することが原則であり、電話やFAXでの診療は禁止されています。また、処方箋を医療機関から特定の薬局にFAXすることも、利益供与の観点から禁止されています。

今回、Covid-19(新型コロナウイルス感染症)の増加に関して、2020年2月28日付で、厚生労働省より以下のような通達がありました。(要点のみ)

・すでに診断されている慢性疾患に対して医薬品が必要とされた場合、医師の判断で、患者の同意を得て、電話や情報通信機器を用いて診療をおこない、処方箋を発行することを可能とする。

・患者が希望する薬局にFAX等で処方箋情報を送付することは差し支えない。
・発行した処方箋は、後日、薬局に処方箋を送付するか、患者が医療機関を受診した際に当該処方箋を手渡しし、薬局に持参させる。

これにより、**期限は未定ですが**、当分の間、ご希望がある場合は、お電話またはFAXでの診療と処方箋の発行が可能になりました。(但し初診の患者様を除きます。)ただ、慢性疾患でも、症状の変化や検査の必要性がある場合は、この限りではございませんので、ご了承ください。なお、自己負担金のお支払い等につきましては、受付にてご相談ください。 院長

こんな時こそ、体とこころを健康に保って正確な認知力を維持しましょう！

2月28日の時点でのCovid-19の感染者数は、世界で84,122人(内中国国内は78,824人)、日本では241人(クルーズ船内を除く)、回復者数は、世界36,711人(中国36,291)、日本22人、死亡者数は世界2,872人(中国2,788)日本4人、となっています。診断がついていない人もまだまだ多くおられると思うので、実際の患者数はこれよりもかなり多いと思われます。

1月以来、かなりの事がわかってきましたが、まだまだわからないことも多くあります。それらについて、箇条書きで挙げてみます。

1) Covid-19の感染が確認された中国在住1099人を対象とした研究論文では、症状で最も多いのは発熱(入院時は43.8%、入院経過中は88.7%)で、次に多いのは咳(67.8%)。一方、嘔吐は5.0%、下痢は3.8%と少なかった、とあります。**重症化するケースは、高齢者、高血圧症や糖尿病、慢性肺疾患などの持病がある場合、**というのは知られていますが、詳細についてはまだまだ分かっていないのが現状です。また、SARSやMERSと比較して、まったく症状のない患者の(裏面へ)

比率が大きいことが特徴で、いわゆる不顕性感染の存在が示唆されています。

2) **濃厚感染が疑われるのは、感染者の家族内、一定時間以上同席した食事、比較的狭いライブハウス**などです。家の周りの散歩やジョギング、スーパーでの買い物などで感染することは、まずありません。たまたま電車で隣に座った、などでは感染のリスクは低いと考えます。(ついでに言うと、家の周りを散歩したり甲子園口のような街中を歩く際に、マスクをする必要は全くありません！もちろん花粉症の方は別ですが・・・)感染が怖いからと家の中に閉じこもることは、かえって体調を崩す原因になります。こんな時こそ、十分な睡眠と適切な食事、運動を心がけましょう。一日中、TVから流れるCovid-19関連のニュースを見ていると、不安や疑心暗鬼など、脳が不健康な状態になりがちです。脳(こころ)を健康に保ち、正常な認知機能を維持することが必要です。

私自身も、3月中に参加を予定していた学会や研究会、講演会などがすべて中止または延期になり、土日の予定表がほぼ真っ白になっています。こんなことは、まずないことですので、これを良い機会ととらえ、日ごろさぼっていた勉強や、やり残していた仕事をしっかりやっていきたいと思っています。

3) フェイクニュース、デマに注意。

「これを飲めば免疫力が上がる」「〇〇でウイルスが消滅する」などの情報には要注意です。ちゃんとしたデータに基づいた情報を選択することが必要です。

4) 漢方の立場からは

残念ながら、漢方薬が、Covid-19に有効であるというデータはまだありません。西暦200年ごろに書かれた漢方の代表的な古典である「傷寒論」は、当時パンデミックをひき起こした疫病が、インフルエンザ様症状から始まり肺炎や下痢など徐々に重症化していく過程での治療法を記載した書物ですが、著者であるとされる張仲景(実在の人物かどうか不明ですが)が生まれたのが今の河南省南陽で、今回のCovid-19の発生地である湖南省武漢市からは150Km程しか離れていない土地である、というのも、なにか因縁じみたものを感じます。

(おまけ)

これを書いている途中に、気分転換のため家の周りを散歩していたら、公園では子供たちが元気に走り回り、お父さんやお母さんと仲良く散歩する家族も多く見かけました。別に繁華街やテーマパークに出かけなくても、友達や家族と落ち着いて休日を過ごす時間を持てたのかもしれない。でも、学校へ行くお子さんを持つご両親は、急な一斉休校で本当に困っておられることだと思います。



お車で来院される患者様へ
歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようお願いいたします。駐車場でのアイドリングもおやめください。

クリニックレターのバックナンバーをお読みにになりたい方は、クリニックのホームページをご覧ください。